

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2013年4月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2013年4月1日発行 通巻240号(毎月1回発行)

春山シーズンだ！

お花見気分は事故のもと

4月号目次

・4月号目次	2	
・花博士の花便り	中原 紀代治	3
・ハイキング委員会リレーエッセー	桑原 年一	4
・2013年度クリーンハイクアピール	全国連盟自然保護委員会	5
・千葉県連統一クリーンハイク案内	県連自然保護委員会	6
・第7回ハイキング委員会報告	ハイキング委員会	7
・「たて」の郡界尾根縦走	神田 武治	8
・NPO「ちば労山ゆう」通常総会案内		9
・NPO「ちば労山ゆう」入会案内		10
・ゆう便りNO-2	平井 昭	11
・お薦め書籍「放射線と登山道」		12
・県連便り		13
・4月・5月予定表		14

表紙説明

松戸山の会は、1月の当番山行で「餅つき山行」を実施した。
当日の参加者30名が「影信茶屋」に集合した。(影信小屋ではない)
松戸山の会の平均年齢だと、餅つき経験者は多く、昔取った何とかで、皆さん？を忘れて、和気藹藹と楽しい様が伝わります。
【ハイキング委員会リレーエッセ、桑原御大の投稿より】

花博士の花便り

ふわくハイキングサークル 中原 紀代治

今年の3月は、上旬にやっと梅が咲き、房総でコセリバウレンとスハマソウが今年も観られました。中旬にコブシ、モクレン、フサザクラやマメザクラが咲き始め、20日の泉自然公園でカタクリ、イチリンソウ、アマナ、ソメイヨシノが開花です。

モクレン科モクレン属の花 モクレンは、花が開く前に南側が先に成長し膨らむので花の先が北を向くことから磁石の木と呼ばれます。

コブシは日本原産の木で各地の山に、枝先に白い花が咲きます果実が“にぎりこぶし”に似ていることがコブシの名の由来です。ハクモクレンとの違いは、花が少し小さく、花の下に葉が一枚着く、枝を折ると良い香りがするので確かめられます。

モクレン (シモクレン)、が本種で紫の花です、ハクモクレンの他に赤やピンクの花が最近見られます、学名からマグノリアと呼ばれる。モクレン類は、コブシより花が大きく、花の下に葉がない、蕾の先が北を向いた後に開花するので見分けられます。

シデコブシ、(ヒメコブシ) シデコブシの原産は、愛知、岐阜、三重の限られた範囲に分布します、愛知の東大演習林のボランティア会の名が“シデコブシ”でしたので知りました。コブシとタムシバの交雑により生じたと考えられています。名前の由来は、花びらが8~18枚と多く神社の神主が使うシデに似ているからです、変種の紅色のベニシデコブシは、庭木に人気の花です。**タムシバ**はカムシバの別名があり葉を噛むと甘味があるそうです、日本海側に多く私は佐渡ヶ島で見ました。

この他に、ホウ、オオヤマレンゲ、タイサンボクも同じモクレン科の植物です。



コブシ



ハクモクレン



モクレン



フサザクラ

楽しかった 新年餅つき山行 I N景信山

山行日 2013年1月5日(土)
参加者 松戸山の会会員 31名
コース 新松戸6:18発—西国分寺7:15/26—高尾7:50着バス8:12発—小仏8:27着
小仏8:40出発—景信茶屋10:10着:10:30餅つき開始—11:20終了片付
11:35景信山山頂(集合写真)11:40出発—明王峠13:10/30—子孫山14:30/35
—与瀬神社15:10/15—相模湖駅15:30着 JR15:59乗車—新松戸17:42着
費用 交通 休日お出かけパス2,600-バス220-: 餅、共同分担金600- 計3,420円
餅1臼¥6,000-×2=¥12,000- 1臼14,5名目当て

昨年秋に「高尾～城山～相模湖」を足慣らし山行に行った際、この辺の茶屋で餅つきの出来る小屋があるのを「東葛山の会の高見様」に聞いていたのを思い出し、城山小屋で聞いてみた所、景信の小屋でやっている事を知り、1月の当番山行を「餅つき山行にしよう」の案が持ち上がり、早速「景信茶屋」に電話を入れて確かめ取敢えず1臼頼み決定する。

早速募集した所、正月にも関わらず、参加者が30名と大勢になってどうかと思いましたが“正月ですし大勢で賑やかにしましょう”、と意見一致して決定しました。参加者30名になったので「景信茶屋」(山頂には景信小屋もあるので間違わない様に)に電話を入れて2臼に追加の変更と開始時間も早めに変更を頼む。尚、当日雨か雪の場合は前日18時の天気予報により中止する事も聞いて置く。

その後電話だけだと心許無いので12月に下見方々、餅つきの順序、持ち物など現場で見て置こうと思いかける。現場では丁度他の山岳会の4グループの忘年餅つきが始まっていて、そこでの手順その他を学び、小屋にもお願いして、帰路は、2手に分けて1班は高尾山経由で駅まで、2班は明王峠から相模湖駅までを歩いて帰る。結局時間の関係で当日は相模湖駅ルートで下山する事に決定する。勿論当日の持参品の分配係も決めて置く。

当日は心配していた天気も上々で、参加者も正月と云うのに30名の出席を得、現地にもほぼ定刻で到着。持ち寄った具材、道具等、手回しよく並べ、餅米の蒸け上がりを待つ。定刻に蒸け上がり、皆、一斉に臼に群がり、経験者が私、わたし、と交互につき始め“手どり”は姉さんかぶりの菊ねえさんの手さばきよろしく一丁上がり。すばやく取り上げ、きな粉、あずき、大根おろし、醤油に海苔、中には持参の納豆まで飛び出し、瞬く間に食べつくす。柔らかく久しぶりの餅で美味しい事この上ない。終わった頃2臼目が蒸け上がり、また、経験者に初めての人が加わり、かわるがわる杵をふるって元気いっぱい、また、一丁上がり。今度はさすがに食も鈍くなる、が、なんとか食べつくし、少し残ったのは居合わせた人たちにお裾分けして完了する。急いで後片付けして、山頂で集合写真に納まり、下山開始。皆足取り軽く、お腹は重く、等と、話しながら明王峠、子孫山、与瀬神社で休憩して相模湖駅に無事に到着、定刻に間に合い帰路に着きました。みんな童心に帰った楽しい山行でした。

桑原年一(記)

「たて」の郡界尾根について

君津ケルン山の会 神田 武治

房総半島の地図を眺めてみると、1月の郡界尾根縦走は、横方向の縦走で、三郡山から鹿野山へと延びる山並みの場合は、周准郡（君津郡）と天羽郡（富津市）を分ける「たて」の郡界尾根縦走と言えないだろうか。そして、横の郡界尾根縦走が60kmで、たてはおよそ15km位だろうか。私一人の時で7時間、普通にゆっくりのんびり歩けば8時間くらいかと思われる。そして部分的に細切れで歩いている時はあまり感じないが、通して歩いてみると思いのほか変化に富んで、楽しいルートである。

三郡山への入り口は、長狭街道「道の駅みんなみの里」手前の交差点を西へ向かう。コメリの先「安国寺」の看板の、次の分岐に「←三郡山」と小さな標識がある。25000分の1地図でこの辺りは北風原（ならいはら）。三郡山へ向かって、車一台が通れるほどのコンクリート道が横尾林道まで伸びている。

遠目塚で道がV字形に曲がる所に、車が回転できるくらいの広場があり、そこから少し登った所に獣よけの電気柵があってここが三郡山への登山口となる。電気柵には手前と向こう側、二つのスイッチがついている。柵の開閉の仕方は、まず手前のスイッチを開放する。そして扉を結んでいる上と下の紐を外して扉を開ける。次に開放したスイッチを元通りに入れて向こう側へ行き、向こう側のスイッチを開放してから扉を閉めて紐を結ぶ。最後にスイッチを入れて終わり。この手順の意味は分からなかったが、近くにいた古老がこのように教えてくれた。

三郡山は以前、フキがいっぱい近くの人達が軽トラで、取りに来ていたこともあるが、今は植林されそれも大分大きくなり綺麗に枝打ちもされている。北側からの登りでは、茅が茂ってかき分けて行く程の時に鎌を持って、茅と格闘したこともあるが、現代では綺麗に整備されていて歩き易い。

このルートは尾根を行ったり、巻いたり、急角度に曲がったり、急なアップダウン等一時も油断できない、そして登るのか巻くのか迷う様なところもあるが、よく見て自分ならどうするかといった視点でみるのも大切である。又分岐などには明確な標識があるので見落とさないようにしたい。とはいえ視界を覆い尽くす、木の葉は多彩で椎や檜類を中心にモミの大木。足元にはシダやヤブコウジ等房総特有の景観で、時に自衛隊のヘリコプターが爆音を響かせてもその影を見ることさえできない。しかしそれゆえに笹郷山の手前の露岩や高後山、鹿野山九十九谷展望台からの展望は思はず息を飲む圧巻である。茫洋と続く山並みは、房総に山が無い等とは言わせない。

2013年3月

- ◆ 地元の山の会「君津ケルン山の会」は、地元の山・沢に通いつめている。恒例の、郡界尾根縦走においても、主催者（ふわくHC有志）と共にガイドとしてサポートしています。何よりの楽しみは、この日のために通いなれた地元の山の恵みを集めて持参してくれます。ムカゴ・ギンナンを持参の小道具で煎り、出来立てを食べさせてくれます。神田さんにありがとうございます。（編集者）

山からゴミをなくし、山岳自然を守りましょう

日本勤労者山岳連盟は、素晴らしい山岳自然を次世代に引き継いでいくために、毎年6月の第1日曜日（東北、北海道は7月）を全国いっせい清掃登山・クリーンハイクの日として、山からゴミをなくすための取り組みを行っており、今年で40回目を迎えます。

昨年は、35都道府県の地方組織で522の山岳会・山の会・クラブが472のコースで清掃登山・クリーンハイクに取り組みました。この行動には、一般参加の方々も含め10,717名が参加しました。そして回収されたゴミは10.36トンでした。

全国の山からゴミをなくすことは、私たち登山者が果たさなければならない大切な役割であると考えています。そのために、日本勤労者山岳連盟は、7年前（2007年2月）「労山自然保護憲章」を制定し、山を汚さず山からゴミを一掃し、山に負担をかけない登り方を心がけ、壊れた登山道の整備、山や自然の変化を定期的に調査するなど山岳環境を守るための活動も行っています。

いつまでも楽しい山歩きができるように、登山者・ハイカーのみなさんにも下記のようなご協力を呼びかけます。

記

- 1、 ゴミは山に捨てないようにし、山からゴミを持ち帰りましょう。
- 2、 捨てられているゴミを見つけたら、ひろって持ち帰ってください。
清掃登山を日常的に心がけ、登山者・ハイカー、行楽客にゴミの持ち帰りをアピールしましょう。
- 3、 すべての登山者・ハイカーが山と緑の番人・山岳自然を守る番人としての自覚をもって山歩きを楽しみましょう。



2013年6月
日本勤労者山岳連盟

県連統一クリーンハイク計画

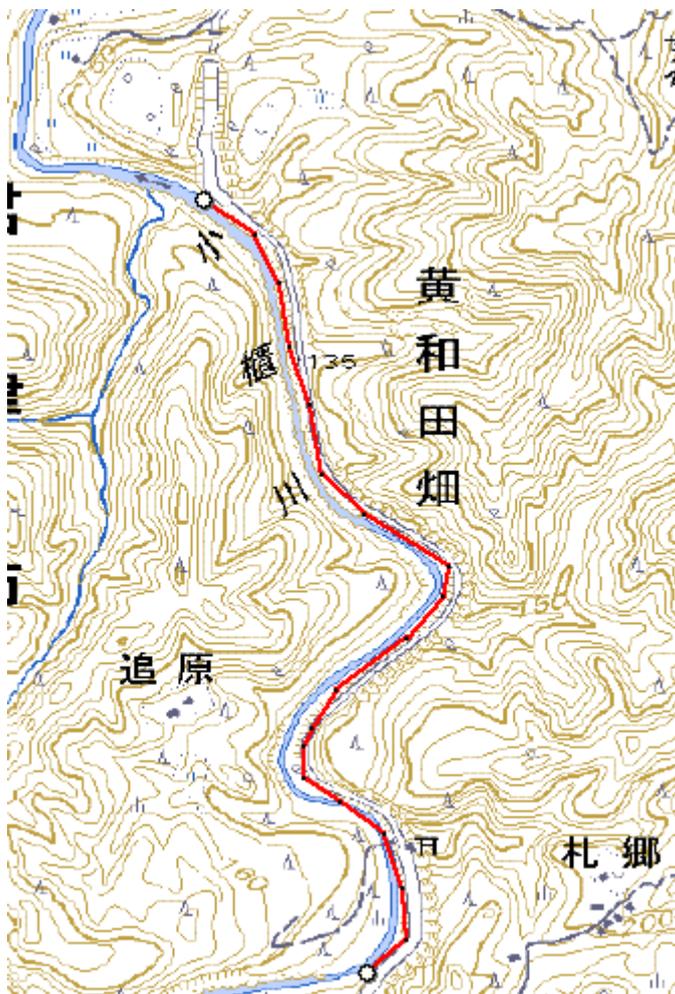
自然保護委員会

いろいろ検討した結果、今年度も昨年に引き続き七里川温泉の近くで実施することになりました。

日時 5月12日(日) 10:00~12:00 小雨決行です。

場所 下記の地図に示す太線の部分
手前のトンネルから札郷トンネル付近の河原とその側面の斜面
昨年実施した部分を含むその前後です。

集合場所 七里川温泉から現地道路脇 9:40



札郷トンネル

収容のゴミ袋は 君津市指定の物を こちらで用意します
回収場所は斜面となっています。
県連推奨のハイキング7点セットを持っている人は念のため持参ください。

昨年 山蛭に悩まされた方が
かなりでました。山蛭対策として
・濃塩水に浸し乾燥させた靴下
・スパッツと長靴で、なるべく隙間のないよう工夫する。
・ゴム製の手袋を隙間の無い様に使用する
等をしてください

電車の便が悪いので参加者は互いに
連絡を取って乗り合わせてください。

午後からについては検討中です。

ご意見・問い合わせは、千葉県連ホームページ・自然保護委員会に問い合わせをお願いします。また、各会で実施予定のクリーンハイク・クリーン作戦などをお知らせください。

2013年度 第七回ハイキング委員会 03月26日 県連事務所

出席者 桑原、佐川、八巻、大田、小山、山本、佐藤、中原、高見、吉澤 10名
議題

1、新名簿 確認 訂正箇所あり、直して再発送する。

2、房総ロングハイキング

反省 新コースで良かった。次回も継続する。バス会社には変更前に連絡の事。

第30回ロングハイキング 記念山行にするか 検討

日時 2014年1月25日(土)26日(日)

次回までに持ち寄ってけんとうする。 七里川温泉に予約入れる事。

3、ちばニュース掲載引き続き行う事にする。 タイトル(山への想い) 雑感

5月小山、6月八巻、7月大田、8月天野、9月吉澤、10月高見、11月佐川、12
月中原、1月山本、2月佐藤、3月菊地、4月加藤、5月桑原

※ 前月の20日までに「ちばニュース」当分の間、会長広木様メールまでお願いします。

4、第16回 平日山行 バス利用 費用¥5,000- 雨天決行

日時 6月6日(木) 花の時期 (つつじの頃)

場所 前日光 古峰ヶ原(こぶがはら)高原 (コースは下見の上、決定)

下見 日時 4月17日(水):参加者 桑原、大田 時間など打ち合わせる事。

山行概略

古峯神社(トイレ休憩のみ)=登山道入り口までバス移動出発—20—へつり地藏—30—古峰
ヶ原峠—(往復 30—深山巴の宿)—1:00—三枚石—30—方塞山—1:00—横根山—30—
前日光牧場(前日光ハイランドロッジ)バス乗車=古峯神社参拝の後 帰路

歩行時間 約5時間(休憩含む)尚、下見の結果多少の変更あります。

牧場に15:00着以上の場合には横根山はカットします。

※ 雨天の場合には古峯神社を参拝して、雨の状態によりコースを散策するか、入浴場所が
有ったらゆっくりする予定。

バス 千葉発: 6時15分集合出発 1台 25名

鎌ヶ谷6:00=新松戸流経大前6:40 集合出発 1台 25名 計50名位

古峯神社 着 9時30分から10時予定

募集締め切り 5月20日(月) 直ちに募集する。

次回委員会 2013年 5月 28日(火) 19:00 県連事務所

2013年3月27日
理事長 吉田 哲治

第1期 NPO 法人ちば労山ゆう 通常総会開催案内

日頃より、ちば労山ゆうへのご協力に感謝申し上げます。

第1期通常総会を下記の日程にて開催しますので、万障繰り合せてご出席いただきますよう、お願い申し上げます。

大震災から2年になりました。多くの仲間の声に押されて立ち上げた「ちば労山ゆう」の活動も、1年を経過します。今年度一年間の活動を総括し、これからの災害支援の方向性を見定めて、来年度へ向けた取組みをみんなで話し合ひましょう。総会後はJR下総中山駅前にて懇親会を予定しております。こちらのご参加もよろしくお願ひいたします。

記

NPO 法人ちば労山ゆう 第1期通常総会

開催日時：4月25日（木） 19：00～20：30

開催場所：船橋市西部公民館（船橋市本中山1-6-6）

.....

お名前 _____

通常総会

出席

欠席

委任状

私は通常総会を欠席しますので、全ての権限を議長に委任します。

お名前 _____

.....

総会後の懇親会

出席

欠席



入 会 案 内

NPO法人 ちば労山ゆう

2011年3月11日に発生した東日本大震災は多くの災禍をもたらしました。津波は多くの方が暮らし、働き学び生活を営んでいた場を一瞬のうちに根こそぎ奪い去っていきました。この大災害に対し日本勤労者山岳連盟はいち早く支援活動に立ち上がり、その動きに呼応し千葉県勤労者山岳連盟も気仙沼から石巻へと支援活動を続けてきました。さらに昨年NPO法人「ちば労山ゆう」を立ち上げ、現地の方がたに喜ばれる様々な支援活動に取り組んでまいりました。震災から2年がたち、現地では復旧は進みましたが、真の復興にはまだまだほど遠い現状があります。出来る範囲で、末永く、NPO法人<ちば労山ゆう>の活動に、ご理解を賜り、支援活動への参加や会員になる事による支援を頂けますようよろしくお願いします。

■会員種別

正会員：この法人の目的に賛同する個人及び団体

総会において議決権を有します

賛助会員：この法人の事業を援助する個人及び団体

当法人の活動を財政面から支援します

■会費（年会費） <平成25年度>

正会員： 3,000円

賛助会員： 1,000円

被災地へ災害支援に行かれる方は、ボランティア保険に加入してください。年間保険料（震災タイプA 490円）は自己負担、加入の手続きは当法人にて行います。

* 当法人の定款・事業計画等は「千葉県 NPO 情報ネット」よりご覧いただけます。

<http://www.chiba-npo.jp/index.html>

.....

入会申込書

正会員		賛助会員		いずれかに○を付してください	
お名前			所属会		
ご住所	〒				
TEL			e-mail		

* 当法人内での連絡は電子メールを主体に行いますので、e-mail お持ちの方はご記入いただきますようお願いいたします。 *ご記入いただきました個人情報は、当法人の運営・管理のため使用いたします。それ以外の目的には使用いたしません。

ゆう便り NO-2 (NPO 法人ちば労山ゆう)

平井 昭 (かがりび山の会)

大震災が起き 2 年を経過し、NPO 法人ちば労山ゆうが出来てから早くも一年を迎えようとしています。成り振り構わずの一年から、少々冷静に周りの景色が目に入るようなゆとりも出てきたこの頃でも有ります。

しかしながら現実には、もっとスピードを持って復興の為の諸条件が実行・実現して貰いたい事が、ゆっくりと非常にゆっくりと、進むいだちを隠せません。が、そのように考えるのは都会に住む私達の生活感・価値観も有るかもしれません。

現在『ゆう』の活動の拠点に成っている場所は、牡鹿半島の谷川浜周辺です。もともこの地区は過疎の小規模の漁村でした。大震災が起こらない前でも、年寄りの多い、若い人は他の土地に仕事を求めて出て行く典型的な過疎の村でした。それが大津波によって大半が家を失い、漁船を失い、養殖筏の大半が流失し、家族によってはご主人だけ生存、他の家族全員が亡くなったようなケースも出て、生き残った方々は、狭い仮設住宅で暮らしている現実も有ります。

現在ボランティアで出来る事は、月に一回漁業支援に、僅かなお手伝いに行くのみです。3 月はワカメの取りいれのお手伝いです。僅か一日と 4 時間足らずのお手伝いでしか有りませんが、現地の人々には何よりの励ましになっているようです。『都会の人が過疎の村に来て、漁業の手伝いを一緒にやってくれる！』何よりの励ましに、元気を貰うことになるようです。そして手伝う自分達もその言葉や笑顔で元気を貰ってきます。

遅々としてしか変わらない現実でも一年前、ましてや震災直後から比べれば、かなり変わってきた部分も有ります。

前向きに、一緒に、手を携えて、『NPO 法人ちば労山ゆう』と共に歩いて下さい。今後は被災地への訪問・買い物バスツアーや被災地の人々との交流等、ボランティア支援を主力にしながら、様々な支援に成り得る企画を、計画・実行して行く所存です。新年度からの会員継続と、今後の『ゆう』への支援を宜しくお願い致します。共に山に！共にボランティアに！「ゆう」です。

追伸 新しい作業『わかめの収穫』は 3 月末にボランティアに行くので、次回にわかめ報告として発表致します。美味しい発表が出来ると宜しいのですが。取りたてのワカメを少量でも卸値で別けて頂く事が可能か交渉してみます。三陸の取りたての生わかめは味が、他のとは一味違うようです。茎ワカメやメカブも期待しているのですが・・・？

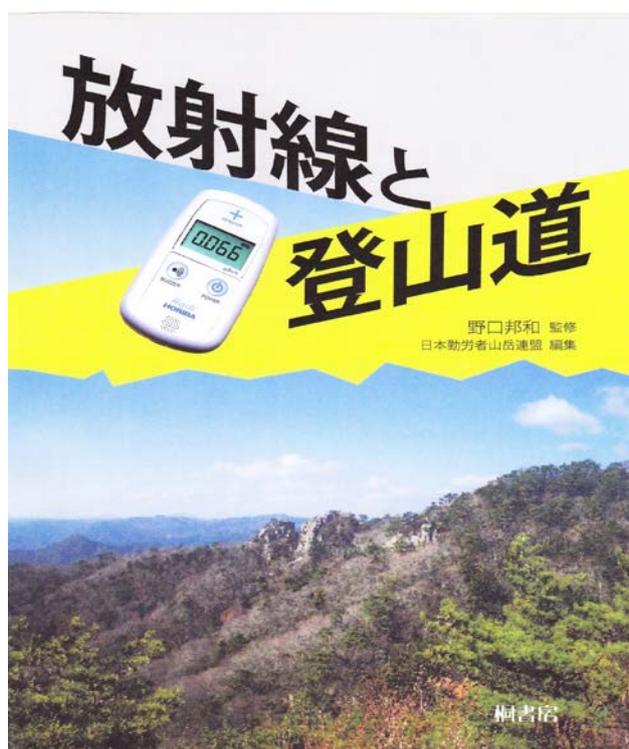
「お薦め書籍」 放射線と登山道

全国連盟は、2011年10月から、福島県をはじめ東北、関東北部などの広範な山と登山道の放射線量を測定しています。

山と登山道の汚染状況を調査測定・記録して、環境を回復するための指標とする。これは、登山団体としての責任であります。

千葉県連盟は、震災直後の4月から宮城県気仙沼市・石巻市で支援活動を継続しています。ガレキの撤去、漁業支援などと同様に、素晴らしい自然、ふるさとの山々を守る活動にも目を向けていきたいと思えます。

本著は、山岳地域の放射線量と安全性に加えて、あれこれ心配Q&A、放射能が人体に及ぼす影響、内部被ばくと食べ物の安全性など、役立つ内容です。



- ・編集 日本勤労者山岳連盟
- ・監修 野口邦和（日本大学 准教授）
- ・発行所 桐書房

◆ 問い合わせ・千葉県連盟・ホームページ 事務局への問い合わせ
広木 国昭 danphiro@zpost.plala.or.jp

県連たより

県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず送付の事。
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
00130-7-595190
加入者名 佐藤 勝子
〒272-0023
市川市南八幡 1-25-16
- ☆ 事務局のお手伝いを、常時募集中
事務所の片付け・資料の整理など
一人でもお友達と一緒に大歓迎です。
連絡は：広木までお願いします

NPO法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 「ちば労ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページからも
入会出来ます。
・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
・入会情報（2月末）
正会員数 87名
賛助会員数 101名
合計 188名
- NPO総会のお知らせ
4月で発足1年になります。NPO
総会が 4月25日（木）19時
船橋市西部公民館
JR総武線 下総中山駅下車
★ 正会員・賛助会員の更新を！
3月末で1年目の期限が切れま
す。継続更新をお願いします。
同時に、新規加入も募集します。

支援物資のご案内

気仙沼産「わかめ」入荷しました。
3月に入り、ワカメ水揚げが始ま
りました。とろろ昆布と同じ、
前田商店からの入荷です。
とろろ昆布の在庫もあります。
問い合わせ・注文は下記アドレスに
多少にかかわらずご連絡を下さい。
danphiro@zpost.plala.or.jp
090-8316-2020

県 連 活 動 予 定 表

4月		行事予定	5月		行事予定
1	月	女性委員会	1	水	
2	火	役員会	2	木	
3	水		3	金	
4	木		4	土	
5	金		5	日	
6	土	県連遭対部雪上訓練	6	月	
7	日		7	火	役員会
8	月		8	水	
9	火		9	木	
10	水		10	金	
11	木		11	土	
12	金		12	日	県連統一クリーンハイク
13	土	NPO支援活動・関ブロ救助隊	13	月	
14	日	" . "	14	火	
15	月		15	水	
16	火		16	木	県連理事会
17	水		17	金	
18	木	県連理事会	18	土	戸隠コンサート&ハイキング
19	金		19	日	"
20	土		20	月	
21	日		21	火	
22	月	NPO役員会	22	水	
23	火		23	木	拡大部会
24	水		24	金	
25	木	NPO総会 西部公民館	25	土	沢登り交流集会
26	金		26	日	"
27	土		27	月	NPO役員会
28	日		28	火	ハイキング委員会
29	月		29	水	
30	火		30	木	
			31	金	

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所には常駐者はいません)

発行責任者 : 吉田 哲治

編集責任者 : 広木 国昭

問い合わせ先 : 千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ